

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	RAINBOW秋ヶ池クラブ			
○保護者評価実施期間	2025年1月1日		～	2025年12月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数)	27
○従業者評価実施期間	2025年1月1日		～	2025年12月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月25日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員が利用児・保護者に寄り添った支援や対応をしていること。	職員一人一人が視座高く日々の支援に取り組んでおり、利用児はもちろんのこと保護者にも誠実に対応できるよう日頃から情報共有や自己研鑽を重ねている。	疑問に思うことがあれば周りの職員に意見を聴くなどしてより幅広く視野をもつこと。
2	事業所に通うのを楽しみにしている利用児が多いこと。	職員が常に利用児が楽しいだけでなくどのような支援方法がより良い成長につながっていくのかを日々考えている。	職員一人一人が更にレベルアップしてよりよい支援につなげ、地域の誰からも信頼される事業所にしていきたい。
3	事業所の支援に満足している保護者が多いこと。	実際に成長を感じてもらえるように日頃の連絡で細かく様子を伝えている。困りごとがあった時にはすぐ相談してもらえ、安心して通所してもらえるように意識している。	保護者からの問い合わせを自分だけで終わらず周りの職員にも常に共有化することで全体としてよりよい事業所に成長していくと思われる。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事故防止マニュアルなどの各種マニュアルが策定され研修や訓練も行っているにも関わらず、保護者にはそのことが周知されていないこと。	事業所として各種研修の実施やマニュアルの周知をおこなっていなかったため。	各種マニュアルのお知らせや、訓練をおこなった際には保護者にも通知するなどして周知をはかる。
2	保護者との十分な交流機会の提供ができていないこと。	常日頃、保護者(同士)との交流の場を提供したいと考えているものの、そのタイミングや場所の問題・保護者のお考えについても種々なため、なかなか実現にいたっていないもの。	保護者の意思を第一優先にしながら、日頃抱えているお悩みや相談事を自由に意見交換できる場所を今後とも提供できるように努力していく。
3			